



9 月を振り返って

小金井教職課程センターでは、現在教職課程を履修中の学生の皆さんに、様々なサービスと情報提供を行っています。最近の活動内容を振り返ってみると、

- ◇ 3 年生対象の進路相談（教職、一般企業、大学院進学等の進路選択に関する相談）
- ◇ 卒業生のお話を聞く会の企画運営（卒業生で現在教員として活躍している先輩方の話を聞きます）
- ◇ 合格体験発表会の企画運営（今年度の教員採用選考合格者に合格までの道のりを聞きます）
- ◇ 論文添削指導（採用選考論文で合格を勝ち取るためのスキルとマインドを育成します）
- ◇ 集団討論演習（集団討論での討論の進め方やアピールの仕方等を実践的に演習します）
- ◇ 個人面接演習（面接選考の意味と面接官の評価規準、好印象獲得のマインドを指導します）
- ◇ 教職教養、専門教養に関する資料提供と質問の受付（個別に相談を行います）
- ◇ 自己 PR 書や各種出願書類の書き方指導
- ◇ 教育実習前、採用選考前の模擬授業指導

特に論文については近年その重要性が高くなっていると感じています。採用する側のマインドとして、近年の応募者減少を受けて「一次選考はできるだけ通過させて、二次選考の論文と面接でしっかりと人物を見極めたい」という傾向が強くなっていることは間違いないからです。「え～でも論文なんか書いたことないよ～」という皆さん。安心してください。小金井教職課程センターには、私の前任である田神先生から受け継ぎ、毎年ブラッシュアップしてきた「論文作成メソッド」があります。今までに数多くの卒業生の皆さんが、このメソッドを習得し、合格を勝ち取ってきたという実績があります。教職課程センターに登録してくれた学生の皆さんには、このメソッドを余すところなくお伝えいたします。一緒に対策を立てていきましょう。

また採用選考の決め手は何と言っても個人面接です。面接官は複数の受験生を面接し、最後に順位をつけることが求められます。そのため、個人面接では、面接官に好印象を持たれることが最大のポイントです。

- この人物に子どもたちを任せて大丈夫かどうか ➡ 印象を見る
- コミュニケーションが取れる人物かどうか ➡ 見極める
- 子ども達にどのような良い影響があるか ➡ 想像する
- 同僚として一緒に仕事してみたいかどうか ➡ 感じる



面接中、面接官はこんなことを考えながら面接に臨んでいます。正直に言って、たった 30 分程度の短時間で受験生の資質や適性を完全に評価することなど不可能です。だから面接官は「可能性」を評価するしかありません。「学力や専門性はあった方がいいが、それ以上に子どもたちに寄り添ってくれるホスピタリティがあるかどうか見極めたい」というのが面接する側の本音なのです。ですから受験生の皆さんは、堂々と自信をもって「私にお任せください。子どもたちに寄り添って、しっかりと彼らの学力や人間性を向上させて見せます！」と言い切してほしいのです。言い切ってもらえることで、面接官は安心して合格を出すことができるのです。

10月の予定

教職課程センターに登録していただいた皆さんとは、今月中に個別に面談を行いたいと思います。既に7月に一次選考を受験している方は、今後の論文作成についての方針を相談していきましょう。一次選考を受験していない方は、来年の7月までのロードマップを完成させましょう。また教員採用か一般企業への就職課迷っている方は、個別に進路相談をしていきましょう。大学院への進学を考えている方は、大学院修了後の進路の見通しについて相談しましょう。皆さんがどんなコースを選ぶにしても、教職課程を選択してさえいれば、卒業と同時に教員免許は手に入ります。医師や弁護士と同じで教員免許も永久免許になったので、長い職業人生の中で、免許を生かして仕事をすることは可能です。少し長いスパンで人生を俯瞰しながら、自分の進むべき道を探してほしいと思います。2年生・1年生の皆さんは、教職の全体像と現場での教員の実態についてお話しますので、ぜひ一度教職課程センターまでお越しください。

Tokyo 教育 Festa

東京都教育委員会では、令和4年度より、教員志願者の増加を狙いとしたイベントである「Tokyo 教育 Festa」を開催しています。当日は本学名誉教授の「尾木ママ」こと尾木直樹先生の講演や、若手教員によるトークセッション、授業づくり体験など、様々なイベントが予定されています。無料で入退場自由なので、興味のある方はぜひご参加ください。（当日の入場枠もありますが、事前予約をすることをお勧めします）詳細はQRコードからご確認ください。

◇ 日程：10月20日（日）

◇ 時間：10時～17時

◇ 会場：ベルサール渋谷ガーデン ホールB・C

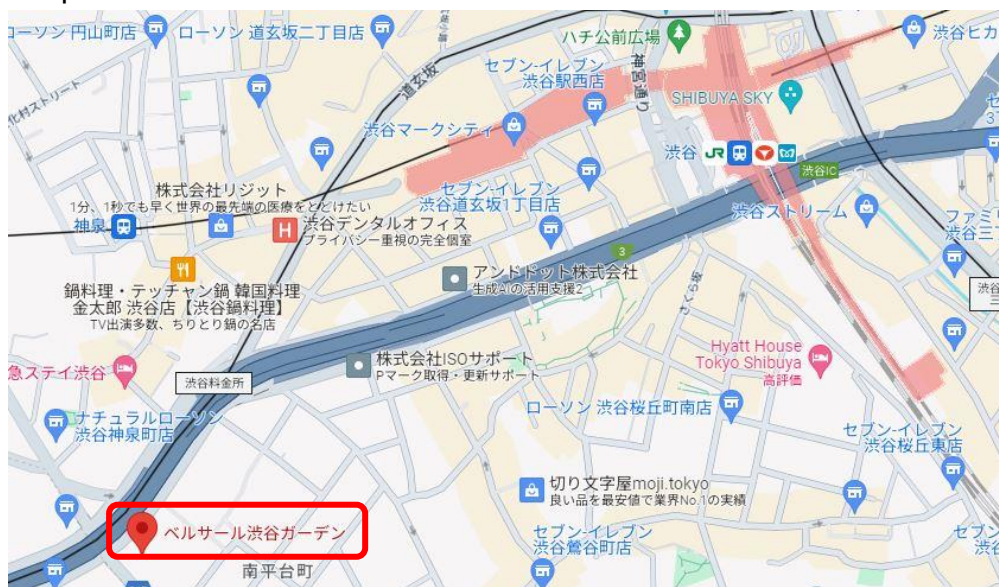
◇ 所在：渋谷区南平台町16-17 住友不動産渋谷ガーデンタワー B1・1F

◇ 交通：JR 渋谷駅下車 玉川通り（首都高4号線高架下）徒歩15分

◇ 備考：無料、事前予約制、服装自由、入退場自由 **※マイページ登録が必要です。**

◇ 詳細：<https://www.kyoinsaiyopr.metro.tokyo.lg.jp/event/festa2024.html>

◇ Map：



尾木直樹 名誉教授



知っておきたい！【非認知能力】の大切さ③ IQ（知能指数）重視から EQ（感情指数）重視への転換

7月号と8月号で特集した「非認知能力」ですが、『これからの時代の日本人に必要とされる資質』という点で考えても、間違いなく上位にランクインすると考えています。私は、これからの時代の日本人に必要とされる資質はIQ（Intelligence Quotient：知能指数）よりもEQ（Emotional Intelligence Quotient：感情指数）だと考えています。

EQとは、1990年代から研究が進められた比較的新しい概念で、「相手と良い人間関係を持つことができる」能力のことを指します。当然非認知能力に含まれます。具体的に言うと、「EQの高い人」の特徴とは、

- ✧ 自分の感情をコントロールすることができる。
- ✧ 相手の気持ちや自分と違う意見などを受け入れる心のゆとりがある。
- ✧ 冷静に物事を判断することができる。
- ✧ 周りの人と良好な人間関係を築くことができる。
- ✧ ストレスに対して耐性があり、柔軟に対応することができる。
- ✧ 相手に対して誠実な振る舞いができ、自分に対しても素直である。
- ✧ 目標を達成するために努力を続けることができる。



そんな特質を備えた人であり、逆に「EQの低い人」の特徴は、

- ✧ 怒りや悲しみなどのマイナスの感情が、表情や言葉、態度などに表れやすい。
- ✧ 相手の気持ちを理解したり、相手の感情に寄り添ったりすることが苦手。
- ✧ 一時の感情に流されて物事を判断したり、行動したりする。
- ✧ 協調性に乏しく、コミュニケーションを取るのが苦手。
- ✧ ストレスに対する耐性が低く、感情的になりやすい。
- ✧ 自己主張が強く、自己中心的な発言や行動をする。
- ✧ 自分の非は認めないが、相手のミスは許せない。



とされています。（参照：Weblio 辞書：EQ）

皆さんよくご存じのドラえもんは、単にIQが高いのではなく、主人公ののび太をなだめたり励ましたりするEQの高いパートナーであり、それが読者の共感呼び、日本人に広く親しまれるようになったと考えられます。

将来的には、様々な現場にドラえもんに近いIQが高いだけでなくEQも高いロボットが導入されることになると思いますが、まだ実現までには時間がかかりそうです。（そんな未来が来ると思うとワクワクしますね）

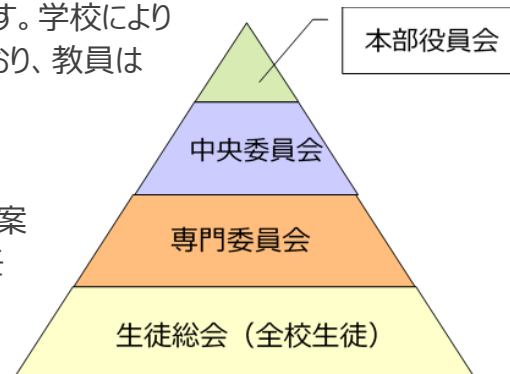
EQを高める指導は手間暇がかかりますが、幼少期より生活体験を充実させ、子ども自身に課題意識をもたせ、そして自力で課題を解決させる。その際に周囲と協力し、お互いを認め合いながらゴールを目指すという取り組みが重要だと考えます。部活動などの集団活動に取り組ませることも重要だと思います。イチロー選手や大谷翔平選手など、世界的に一流と呼ばれる選手たちは、例外なくIQだけでなくEQも高いことが感じられます。目につきやすい認知能力（テストの点数や入試の結果）だけで子ども達の成長や人格、人間性を評価するのではなく、非認知能力であるEQを高められる教育が求められていることは間違いありません。

学校での教育活動の2本柱は「授業」（教科・道徳・総合）と特別活動（生徒会活動・学級会活動・学校行事）です。「部活動」は生徒が最も楽しみにしている活動ではありますが、教育課程外の活動なので、ここでは除外します。（※9月号を参照してください）
 今月は特別活動の中でも「生徒会活動」と「学級会活動」について取り上げたいと思います。

○ 生徒会活動の目標（学習指導要領による規定）

生徒会活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団や社会の一員としてよりよい学校生活づくりに参画し、協力して諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度を育てる。

この目標を達成するために、各学校で様々な取組みをしています。学校により名称は異なりますが、生徒会は概ね右図のような組織となっており、教員は分担してそれぞれの指導を行います。



（１）生徒会本部役員指導

生徒への指導の他、担当教員は取組みの日程等の事前提案を行います。先を見通した計画力が要求されます。教務主任と連絡を取りながら、無理の無い様に年間行事予定に活動を組み込んでいきます。

- ① 生徒総会は年に1～2回開催されます。総会までの間に本部役員には、本部の活動方針や活動計画の策定、議案書作り、総会リハーサル等を行わせて総会がスムーズに開催できるよう指導します。
- ② 本部役員には、定期開催される専門委員会がスムーズに行われるようにサポートさせます。例えば、初回は委員長が決定するまで本部役員に司会を担当させます。
- ③ 中央委員会は、生徒総会に次ぐ議決機関です。各委員会レベルで解決できる課題について議論させます。専門委員会指導担当者との事前の打合せが大切です。
- ④ 生徒会本部が中心となる活動は、生徒会朝礼、体育祭での生徒会種目、ボランティア活動等があります。伝統的に引き継ぐ活動や、役員メンバーの独自性を出した取組みを企画運営します。

（２）専門委員会指導

- ① 委員会活動は、年間計画にある開催日以外にも日常的な取組み、行事や学期末等の集中的な取組みがあります。学校事情により、やらなければならない細かい取組みもありますが、生徒の意欲次第で、様々な活動が考えられます。生徒の日常生活の改善を担っている組織と言えます。
- ② 初回の役職決めでは、事前に生徒の状況を担任から聞いておき、立候補を促す方法もあります。
- ③ 定期開催の委員会は、事前に委員長と内容の検討をしておくこととスムーズに進めることができます。

（３）学級会指導

- ① 担任がリードしますが、基本的には生徒同士の話し合い活動です。生徒同士で多くの意見を出しあうことができる環境作りが大切です。職員会議で確認された日程や締め切りを守るように気をつけます。
- ② 学級活動では、委員決めや生徒総会に向けた議案書の討議を行わせます。下の学年は、委員会の仕事内容や議案書の討議の方法の理解がまだ不十分です。生徒中心で話し合いを進めさせますが、生徒の実態に合わせて担任が活動をサポートすることも大切です。
- ③ 生徒会役員の改選の時期には、候補者の推薦や決定を行います。学級全体の中で候補者が出にくい状況があれば、リーダーの資質を持つ生徒中心に個別に面談し、立候補を勧めることもあります。教員間で、立候補者数や信任投票とするか選挙とするか等を事前に打ち合わせておく必要があります。